

松陵

秋田県立能代高等学校
同窓会事務局

〒016-0184 能代市字高城2-1
能代高校内

TEL 0185-54-2230

FAX 0185-54-2231

題字は元会長神馬恒成氏

印刷所 (株)北羽新報社



同窓会員の皆様へ

同窓会長 森田 新一郎

(40期)

能代高校同窓会の皆様には
ますますご健勝のこととお慶
び申し上げます。また皆様に
は日頃から同窓会活動に格別
のご理解とご支援をいただき
厚く御礼申し上げます。

私は、平成24年9月22日、
母校の創立記念日に開催され
ました同窓会総会において、
田中仁純前会長の後任として
同窓会長に就任することにな
りました。歴史と伝統がある
我らの母校は、大正14年に秋
田県立能代中学校として開校
し、まもなく創立90周年を迎
えるという大変重要な時期に
さしかかっております。こう
した重要な時期に、40期卒業
という若輩者の私が同窓会長
という重責を担えるかについ
ては不安もありますが、経験

豊かな役員の方々からよろ
しくご指導とご協力をいただ
きながら、また同窓会員の皆
様にも一層のご指導、ご支援
をお願いしながら、また学校
当局ともよく相談しながら、
母校の振興発展に向け全力で
取り組んでまいりますので、
どうかよろしくお願いいたし
ます。

また、同窓会には、東京同
窓会や秋田支部、県庁能高会
などたくさんの方々がありま
す。本部と支部とが一体と
なって母校を物心両面から支
援できるよう、支部の集まり
には可能な限り本部の役員が
参加させていただくなど、引
き続き本部と支部との連携強
化を図ってまいります。さら
に、同窓会の年2回の集まり

逢ひ見ての のちの心に くらぶれば 昔はものを 思はざりけり



校長

佐々木 正一

(41期)

同窓会の皆様には、ご健勝にてご活躍のこと
とお喜び申し上げます。また、平素、母校の教
育活動にご理解を賜り、温かいご支援と激励を
いただき、心から感謝申し上げます。ご勇退さ
れた田中仁純前会長の多大なるご尽力とご功績
に感謝の意を表するとともに、森田新一郎新会
長には、同窓会の発展のため、大いなるお力を
發揮していただきますようお願い申し上げます。
冒頭の歌は、権中納言敦忠の作で百人一首に
も取り上げられています。このような激しい思
慕の情を抱いたのは、我が六十年の人生のうち
でいつのことだったのか、あるいはこんなこと
があったのかさえ思い出せなくなってしまうま
いりました。今から千年以上も前の歌ですが、ここ
にある男女の間の思いは現代にもそのまま通じる
ものでしょう。急速に進歩を遂げている人間社
会ですが、人間の感情は古い脳といわれる大脳

である9月の「総会」と年明けの
「新年会」について、多くの世代が
参加しやすいような環境づくりに
努めてまいります。

終わりに、今後とも同窓会活動
に一層のご支援をお願い申し上げま
すとともに、これまで同窓会と母校
の発展に献身的にご尽力いただき
ました田中前会長と、今回退任さ
れた続副会長に心から感謝を申し
上げ、就任のあいさついたします。

平成25年 能代高等学校同窓会 新年祝賀会のご案内

◎日時 平成25年1月26日(土)

講演会 午後5時30分

講師 (42期生の予定)

演題「 未定 」

◎会場

キャッスルホテル能代
(能代市元町)

電話(0185)55-1111

◎会費 4,000円(当日持参)

※当番幹事は42期・52期です。参加申
し込みは各期幹事または同窓会事
務局へ連絡してください。

同窓会事務局

電話(0185)54-2230

FAX(0185)54-2231

辺縁系から生まれるといえますから、根源的な
部分では同じままなのかもしれません。
10月に、脳科学者の茂木健一郎先生に能代高
校までおいでいただき、全校生徒対象の進路講
演会を行いました。この講演前後に、図書館で
は茂木先生の著書のコーナーをつくり、生徒の
学習の援助をしました。その中であつた『感動
する脳』(PHP文庫)の中で、茂木先生は、
アインシュタインの「感動することを止めた人
は、生きていないのと同じことである」の言を
紹介し、「年齢と共に感動がなくなっていくと
いう悲しい事実を踏まえた上で、彼はそう表現
したのでしょう。大人は子供のように感動する
ことができない。それは初めての経験というも
のが圧倒的に少なくなってくるからです。二度
目、三度目の体験であつたとしても、その二度
目の中に初めてを探る努力をしなくてはならな
い」と言っています。



権中納言の歌のよ
うにはいかなない諸氏
は、現役の能代高校
生が活躍する姿に二
度目の青春を探して
みてはいかがでしょ
うか。

同窓生から

能中十八期生の活動状況

能代中学十八期会 事務局 大山 正晴

旧制能代中学校第18期生の我々は、昭和17年4月戦争の最中3クラス150名入学し、学制改革の関係で終戦の翌年、昭和21年3月、中学四年生で卒業と、22年3月本来の五年生で卒業の2年間に分かれているが、十八期会として結成のうえ活動を続けている。

戦時中の学徒動員・勤労奉仕等のため、上級生が学校に不在で、私達は三年生の時より最上級学年であった。

三年時には、阿仁合の古河鉱山へ寮生活で鉱滓運搬作業、東雲飛行場での飛行機清掃作業等、四年時には国鉄の鉄道線路に敷く砂利を河原より採取し、貨車への積み込み作業や、秋木の機械工場・中川原の同社製鋼工場への勤労奉仕があった。

20年8月終戦の玉音放送は、我々の組は樽子山校舎の空地に松根油の油取り大釜があり、その作業中の昼休み、焼け残っていた柔道場前に集合して聞いたのである。

終戦後9月より学校に帰り、陸軍少年航空兵・特別幹部候補生や、海軍兵学校・同予科練習生等の軍隊に志願入隊・入校していた多くの同期生も復学し、学業とスポーツに青春の情熱を燃やし、特にスポーツでは体操部・バレー部は全国大会に出場した。また野球部・庭球部・陸上競技部等も全県大会で大いに活躍した。学業では、専門学校・各大学へ進学するものが多数いた。

昭和50年最初の事務局代表富山皓平君の尽力により十八期会を組織し、全国同期会を開催してきた。同君が死亡後二代目池井安昌君となり、毎月18日に能代同期会を松風庵・プラザ都の同期生が経営または関与している料亭で、低廉な会費で行ってきたのである。

60年秋に、卒業後40周年記念同期会を初めて一泊で森岳温泉にて開催し、記念事業としてビデオ収録と記録集づく

りが計画され、昭和63年10月能中十八期生の記録第一集を作成し、それ以来平成22年1月第五集まで発行している。第三集を発行した時点からその都度会費を集めて最高時百万円近くの資金を有し、次の発行経費や、能代と全国同期会開催通信費・勲章受章者3名の叙勲祝賀会・会員死亡時には弔辞と弔旗か花輪を供えており、これらの諸経費に充当し現在四十数万円の資金がある。

平成5年からは、全国同期会を能代山本付近と、関東方面在住者の参加を考慮して、東京近辺の箱根・熱海・伊豆・山中湖等と毎年交互に実施し、平成9年6月18日には卒業50周年記念で50名が参加し、能代年金保養センターで開催したのが最高に盛大であった。

毎年全国同期会の際、会員



から近況・連絡や寄稿文の提出を受け、それを「会員近況集」として作成送付している。

現在は、能代同期会を2カ月に1回、懇親会か昼食会を実施し、10名前後が参加して親睦を深めている状況である。

我々の在学中は、戦中・戦後の激動と変化の時代であり、卒業までの期間、転校生や復学編入生等もいたので、名簿上は総人員163名となるが、現在の生存確認会員は67名で半数以下となり、この十八期会を谷内忠蔵会長始め私達役員が、元気で百歳になるまで維持継続していくことにしている。

60期同期会報告

不惑同期会

60期3A 長門 朋子

東日本大震災が起こった二〇一一年に不惑を迎えた私たちは、年が明けた平成24年1月2日、世相を反映する文字のごとく絆を求めたのか、厄年同期会をプラザ都樹海の間にいって行いました。

参加人数は100名、現在母校で校長を務められている数学の佐々木先生はじめ恩師4氏、二次会は総勢100名の大所

帯となりました。応援団メンバーの、うろ覚えになつてしまった応援歌披露や、今回ふたを開けてみると大同窓会となつた幹事のD君・I君・H君のずっと続いている友情の垣間見える楽しい掛け合い、まったくお变わりのない英語の信りん、地学(物理?化学?)のきんちゃん(当時通り敬称略)の今にも授業が始まりそうなお挨拶、同窓会報を担当されているカツペイ先生の昭和の新聞売りの売り込みなど、各イベントが盛会に華を添えていました。

きっかけは幹事の男性陣が、限りなく初恋に近い気になるあの子のその後が知りたい、という本能のようなものであったとしても、懐かしい面々に会え、音信不通になつてしまった友人と再会できたことは、それぞれまた新たな楽しい思い出の一ページとなつたことでしょう。どのくらいみんなが楽しんだのかは二次会の参加人数が物語っているといます。私は卒業以来、こんなにたくさんの同じ歳の人と一緒に、能代の飲み屋さんの一室に集まって、わいわいがやがやと時が経つのも忘れて話し込んでいたのを見たことがありません。

無事が気になるお友達や元

同窓会会計報告

平成23年度分（平成23年9月1日より平成24年8月31日まで）

Ⅰ. 経常費

収入の部

項 目	23年度予算額	23年度決算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,108,210	1,108,210	0	前年度より繰り越し
2 入会金	1,598,400	1,573,680	△ 24,720	7,200円×218名+4,080円×1名
3 会費	2,000,000	1,932,000	△ 68,000	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	0	△ 1,000,000	
6 その他	390	7,578	7,188	雑収入・利息等
合 計	5,707,000	4,621,468	△ 1,085,532	

支出の部

項 目	23年度予算額	23年度決算額	比較増減	摘 要
1 会議費	350,000	338,833	△ 11,167	総会・新年会補助、各支部会出席費用
2 慶弔費	20,000	0	△ 20,000	
3 卒業関係費	380,000	352,575	△ 27,425	人会記念品（人会金を基金へ1,200円×219名）
4 通信印刷費	2,200,000	1,917,939	△ 282,061	松陵会誌・案内はがき、新聞広告
5 事務費	70,000	49,908	△ 20,092	紙代、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	120,000	78,584	△ 41,416	HP利用料等
8 運営資金繰戻	1,000,000	0	△ 1,000,000	
9 予備費	567,000	214,200	△ 352,800	ノート代
合 計	5,707,000	3,952,039	△ 1,754,961	

《差引残高》

収入 支出 差引残高
4,621,468 - 3,952,039 = 669,429

Ⅱ. 基金

種 類	平成24年度分	平成23年度分	摘 要
1 秋田銀行積立	31,366,936	31,094,158	人会金（1,200円×219名）を含む
2 秋田銀行定期	891,546	891,331	
3 秋田銀行定期	1,006,156	1,005,914	
4 秋田銀行普通	3,051,709	2,051,296	貸付金平成21年22年23年24年返済分4,000,000円（利息1,214円） 創立85周年記念事業費として949,505円支出
合 計	36,316,347	35,042,699	

Ⅲ. 貸付金

9年間で返済される予定

- 平成20年4月7日 5,880,000円 をエアコン設置代として貸し付ける
- 平成21年1月19日 1,000,000円 を返済される（利息計313円）→Ⅱ.基金4
- 平成22年1月20日 1,000,000円 を返済される（利息計509円）→Ⅱ.基金4
- 平成23年2月3日 1,000,000円 を返済される（利息計801円）→Ⅱ.基金4
- 平成24年2月8日 1,000,000円 を返済される（利息計1,214円）→Ⅱ.基金4
- 平成24年8月31日現在の貸付残高 1,880,000円

同窓会経常費予算

平成24年度分

(Ⅰ) 収 入

項 目	24年度予算額	23年度予算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	669,429	1,108,210	△ 438,781	
2 入会金	1,670,400	1,598,400	72,000	7,200円×232名
3 会費	2,000,000	2,000,000	0	
4 寄付金	0	0	0	
5 運営資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	基金4（秋田銀行普通）から繰り入れ
6 その他	171	390	△ 219	預金利息など
合 計	5,340,000	5,707,000	△ 367,000	

(Ⅱ) 支 出

項 目	24年度予算額	23年度予算額	比較増減	摘 要
1 会議費	350,000	350,000	0	総会等補助、各支部会出席費用
2 慶弔費	20,000	20,000	0	電報
3 卒業関係費	380,000	380,000	0	人会記念品、人会金の一部を基金へ
4 通信印刷費	2,200,000	2,200,000	0	会報印刷・寄送料、はがき、新聞広告
5 事務費	70,000	70,000	0	事務用品、事務局員手当
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 事業費	120,000	120,000	0	インターネット利用料、HP利用料
8 運営資金繰戻	1,000,000	1,000,000	0	基金4（秋田銀行普通）への繰り戻し
9 予備費	200,000	567,000	△ 367,000	
合 計	5,340,000	5,707,000	△ 367,000	



60期同期会集合写真 カツペイ先生が1人1人の名前を入れたA3判の図を作ったが名前がわからない人もいて未完成。図を欲しい60期生はkappei@k.email.ne.jpへメールを。

恋人、片想いの君の、今の姿かたちを確かめ合って、たとえそこに紅顔の美少年やばら色の頬の少女が居なくとも、増えたり減ったり余分なものや必要なものの加減剰余具合を見たり見なかったことにしたりして、再会を心から楽しんでいたいようです。

その後に行われた幹事の反省会では、ぜひ毎年開いて！という幹事冥利に尽きる声が続々と届いていたようで、次は誰が総合幹事になるかでもめつつも、オリンピック毎に開こう、4年なのか、2年なのか、と楽しい議論が行われ

ました。

私が3年間あこがれていた、美しい文字を書く隣席のあの人は物語者に名前を連ね、こういう再会が二十数年後によもやあろうとは、これっぽっちも思わずに、おさげのリボンの色具合や靴下やブラウスの模様だとかに心血をそそいで高埕の田んぼの真ん中の校舎に通っていたあの頃は、もう二度と戻らないかけがえのないものだったと改めて感じさせられました。

青春とは、心の若さである——松陵「健児」たち、また、元気に会おう！

事務担当の皆様お疲れ様でした。

二十年の時を経て
集まれ第57期同期生諸君！
昭和62年3月卒業（昭和43年4月・昭和44年3月生まれ）
第二回同期会開催
日時 平成25年1月4日（金）午後6時
場所 キャッスルホテル能代
会費 八〇〇〇円
※12月になっても連絡が届かない人は、トラベルプラザ能代（0185・55・0655）内の山崎学まで連絡をお願いします。

平成24年3月卒業生 進路状況一覧

生徒数		男	女	計
		126	93	219
大 学	国公立	52	35	87
	私立大	42	36	78
短 大	国公立	0	0	0
	私立大	1	2	3
専修・各種学校		7	11	18
就 職		8	3	11
そ の 他		16	6	22

平成24年度同窓会総会報告

新会長に森田新一郎氏(40期)選出

同窓会総会の開催日の前後に連休が2回あるので開催日決定には例年苦労しているが、今年は6月の役員会で「総会は創立記念日にやりましょう」という田中仁純会長の言葉で決定。平成18年以来、6年振りに創立記念日に開催された。会場は柳町のプラザ都。

総会は恒例により田中会長を議長として進められ、決算、予算とも原案どおり承認された。会計報告支出の部は9予備費に記載されている「ノート」については、「これまでは卒業時に記念



新会長あいさつ

品を贈るだけだったが、入学時に同窓会の存在意義を説明して渡す」ということで新人生に3冊ずつ配布したことを説明し、そのノートを出席者にも1冊ずつ配った。

但し、会計報告資料のへ基金4摘要欄に記載漏れがあったので、正確な資料を会報3ページに掲載した。

議事の「その他」で、「ロケット甲子園」で優勝し世界大会への出場権を得たことに對して、田中会長から同窓会としても募金を募るなど支援していきたいとの説明があった。それに対して会場から「グローバル活動は今後も増えたと予想されるので、単発的ではなく、継続的な支援ができる基金のようなものを設けてはどうか」という意見があった。このことについては会報に同封した「グローバル活動支援事業募金趣意書」を参照していただきたい。

懇親会は硬式野球部の東北大会出場が決定した日とあつて、今日は酒がはいぐよという感じで最初から盛り上がりがついてた。

同窓会役員 (24～25年度)									
顧問	佐々木	満	(15期)	会長	田中	純	(25期)	副会長	森田
柴田	飯坂	山田	畠山	佐藤	柴田	浅田	森田	田中	仁
寛	誠	孝	良	浩	嘉	美	一郎	純	(25期)
彦	悦	行	子	嗣	郁	美	(17期)	(40期)	(40期)
(37期)	(35期)	(32期)	(30期)	(30期)	(24期)	(17期)	(40期)	(40期)	(40期)

同窓会新年祝賀会

平成24年の新年祝賀会は、1月21日(土)に、会場を同窓会報「松陵」23号で案内した能代キャッスルホテル平安閣から「プラザ都」変更して開催され、61名が出席して行われた。今回は「食へのこだわり」秋田から、東京からと題して、ゲストの金子裕二氏(41期・スペイン料理「グランビエ」代表)と聞き手の八代保氏(41期・北羽新報社編集局長)の対談という形で行われた。その対談の内容を八代保氏からまとめていただいた。

◆ ◆ ◆
八代 そもそも、スペイン料理店を開くに至ったのはどういうことからですか。能代高校卒業後は俳優の道を目指したと思っていたのですが…。

金子 高校卒業後、東京の大学に進学しましたが学生運動も終わっており、エネルギーを吐き出すところがなく中退、芝

監査									
塚本	恵子	(42期)	堀田	英子	(47期)	泉	牧子	(48期)	事務局長
総務部	松谷	健	(35期)	財務部	高橋	宏	(32期)	広報部	小林
小勝	平	(33期)	佐々木	幹	(53期)	佐々木	孝幸	(57期)	会計
阿部	川	由佳莉	阿部	川	由佳莉	阿部	川	由佳莉	阿部



居の学校(俳協養成所2期卒)に行っていました。その間アルバイト先がレストラン、飲食店。それがそののち料理店を開くものになりました。何しろ当時、レストランで働けばまかない飯がたらふく食えましたから、バイト料が入り、ご飯も食べれる最高のアルバイトでしたね。

役者の道をあきらめたのは、実家の倒産がありその整理に戻った事と結婚ですかね。あとはスペインという国に興味を持ち35年前の初めてのスペイン旅行をした時にスペインのバル飲食文化に魅せられたことですね。

八代 修業はどうしたのですか。そして秋田市での開店。それはどうしてでしょうか。当時、秋田にスペイン料理は受け入れられると思いましたが。

金子 結婚してから、再度東京(赤坂)の地中海料理店で修業、秋田市に戻り「グランビエ」を昭和57年に開店しました。秋田に戻った理由は当時子供がいたので、自分が育った秋田で子供を育てたかったからです。後に三姉妹とも18歳まで秋田の高校出て、三姉妹とも東京の大学を卒業しました。

当時、日本それも秋田ではスペイン料理はまだ珍しく、特に秋田では受け入れられるのに時間がかかりましたね。エピソードのひとつに、男性客が入ってくるなり「ハンバーグ、ひとつ!」するとこちらは「すいません、ハンバーグやってないですすね」。「じゃー、カレー!」「すいません、カレーも置いてないんですよ」「エー! じゃーナポリタンでいいよ ナポリタン!」「…ナポリタンもちょっと」「じゃー 何があるんだよ、何が?」ー そんな時代でした。

八代 その後、生ハムづくりを始めました。それはどうしてですか。今は輸入品もありますが、なぜ自家製、秋田製にこだわったのでしょうか。スペインの風土と秋田の風土は違いま

す。商品として出すまでには、相当の苦勞や失敗もあったと思われませんが、どうでしたか。

金子 生ハム作りを始めたきっかけは、店を始めた後も何度かスペインに行つて、現地のハモンセラーノ(生ハム、山のハムの意)の美味しさに感動しました。当時輸入禁止だった生ハム作りに挑戦したわけですが、日本には作っている人もなく、文献もなく、もちろんインターネットもなく情報が全くありませんでした。手探りで始めた生ハム作りは、その後何度かスペインに行き食べたり情報集めたり、ほとんど試行錯誤でした。生ハム作りを始めて27年ぐらひなりますが、10年は失敗続きで物にはなりませんでした。ある時、今までのスペインの気候に合わせて作ろうとした事を止めて、秋田の風土に合わせた作り方にしてみようと考え、だめもとでやってみたら、これが上手く出来ちゃったんです。

「あの時は感動しましたね。自分で感動するというのはあんまりないですが、10年も失敗続きでしたからね(笑)」

失敗した事はいっぱいあります。10年ぐらひ前かと思いますが、ある程度安定して出来るようになり、たかをくくつてたんですね、かなり夏が暑い年で150本ぐらひ腐らしてしまいましたね。捨てるのにもこれまたお金

がかかりダブルショック。仕事を侮っちゃいけませんね!

秋田産にこだわるのは、自分のルーツが秋田にあるという事、まあ一種の郷土愛でしょうか。

八代 東京は赤坂に出店、人氣店として、また美味しい店として紹介されています。東京への進出はどういう考えからでしょうか。

金子 赤坂に出店して7年になります。秋田産の生ハムを広めるためにはまず首都圏で認められなければと思いました。そのためにはアンテナショップとして「秋田産の生ハムの店」を知らしめる必要があると考え、生ハムを前面に出し、同時にスペイン料理店として営業する手法をとりました。

八代 「バル」という居酒屋のようなスタイルの店も東京にあります。それはどういう思いからなのでしょう。

金子 スペインには「バル」という居酒屋のスタイルがあります。基本的には立ち飲みで、朝7時頃から深夜3時頃までやっている、コヒーもあり軽い食事でもでき、酒のつまみも充実したなんでもありの店です。タバコやワイン、ミネラルウォーターなども買えたりします。もちろん冷たい生ビールは最高に美味しい、それで価格が安い!ビール、ワインが一杯2、3ユー

ロぐらひ。

近所に住む人たちの情報交換場所にもなっているのが毎日同じ人が立ち寄る空間、1日2、3回立ち寄るのは普通で、暇があればずーと長い時間そこにいる町の長老がいたりする。そんな地域に密着する空間「バルグランビア」を通して、コミュニケーションの場を作ったのです。

八代 生ハム工場を協和町、現在は田沢湖町に設け、塾を開くなどしています。その狙いは何でしょうか。

金子 日本になかった生ハムの文化を広めるには、まず多くの人に生ハムを理解してもらわなければなりません。そのためには、実際に自分で手で触つてみて、作つてみて、それを食べてみる。塾開催の11月、2月までの間に約100名の参加者がいます。北は北海道から南は沖縄ま



で日本全国から来ます。友達や家族と一緒に来ますので、その3倍、4倍の方が田沢湖の生ハム工房を訪れます。塾参加者は知り合いに生ハムの話をします。さらに4倍5倍とどんどん広がります。私の思うつぼですね(笑)。

八代 秋田でも長く店を開いています。秋田の食材の可能性についてどんな考えを持っていますか。こういう料理はどうなのかなどアドバイスがあったらどうぞ。

金子 秋田の食材は本当に良いものがあります。それがまだ首都圏に知られていないものが結構あります。売り込み方法がまず下手ですね。地元にいるとその食材の本当の良さに気付いていないものもあるかもしれませんね。

東京の赤坂のグランビアではジュンサイなんかは、ガスパチョ(スペインの夏の冷たい野菜スープ)の浮き実を使うなどしています。まだまだ、これから可能性はあります。

八代 食の安全安心が言われています。そのことについてどう考えますか。

金子 多分これから、一番要求されるのは「食の安全、安心」です。グランビアの生ハムは海水塩と新鮮な豚肉しか使われません。食肉の加工品に使われる保存料や発色剤は一切使いませ

ん。自然の塩の中に含まれているんです。生ハムはスペインでは紀元前のローマ時代から作られているもので、その古典的な本来の作り方にこだわって行こうと思っています。

八代 今後の抱負を聞かせてください。

金子 秋田全体というか日本全体の地方の問題だと思うのですが、首都圏の人々にとにかく地方に来てもらうということだと思います。そのためには、それぞれの地方の持っている食材を使った料理を充実させる、さらにそこでなければ食べられない物、オンリーワンの物があつたら最高ですね。そういう事をこれから考えながら、秋田の食文化にかかわっていききたいですね。さらに秋田産の生ハムをグレートアップしていきたいのももちろんですが。

八代 最後に同窓の後輩や、ふるさとの若者にエールをお願いします。

金子 月並みですが、「やりたいう事をあきらめずにやる、好きな事は納得がいくまでやってみる」です。そうすると、またそこから別なものが見えてきたりします。その時に必要だったら軌道修正をする。それで良いんじゃないかな。一生懸命やったことは必ずいつか何かに役に立ちます。やりたいことを見つけてください。

在校生の活動状況

グローバルな活躍

ロケット甲子園
理数科課題研究で
世界大会代表に

課題研究担当 内田 祐貴

毎年、8月中旬に能代市では「能代宇宙イベント」という宇宙ロケットに関するイベントが開かれています。能代市とロケットとの関わりは古く、8年前より、能代宇宙イベント協議会が、能代市などの協力を得て、宇宙教育を目的として本イベントを開催してきました。このイベントのプログラムの一つに、「ロケット甲子園」という高校生を対象とした、ロケット打ち上げの競技会があります。ロケット甲子園では、打ち上げ高度、滞空時間、ロケットの材質などに規定があり、この条件のもとにロケットを作成し、さらにロケット内に生卵を2つ搭載し、この生卵が割れないようにロケットを打ち上げ、回収して、どれだけ条件を満たしているかを競います。

さて、能代高校理数科2年



生は、毎年課題研究を行なっていますが、今年の物理班はテーマに「モデルロケットの作成と打ち上げ」を選び、この「ロケット甲子園」に参加することを目指しました。モデルロケットの作成は、能代高校では初めての経験であり、ノウハウが全くない状態から多くの試行錯誤を繰り返して、生徒たちは夏休みを返上して、ロケットの製作に取り組みました。実際にロケットが完成したのは大会の前日でしたが、打ち上げは見事に成功し、大会1位の成績を収めることができました。

ることができました。これにより、来年アメリカで開かれる世界大会（TARC）の日本代表としての参加権を得ることができました。

ロケットの製作は、苦勞と試行錯誤の連続でしたが、今回の経験が必ず生徒たちの将来に資するものと確信しております。

硬式野球部
秋季大会で
全県の頂点へ

監督 伊藤 康夫

秋季東北地区高校野球秋田県大会において、6年ぶり3回目の優勝を果たしました。6年前は、神宮で活躍した鷲尾投手（国学大―日本通運）を擁しての30年ぶりの優勝でした。今夏の秋田大会では、2年続けてベスト8で敗退しましたが、投手陣は2年生中心であったことから、秋はかなりやれるという気持ちでおりました。

さて、記録的な猛暑となった今夏の練習は、まさにハードなものでした。しかし、「勝利」「技術的成長」「精神力の向上」を目標とした選手は、妥協することなく練習に取り組み、県外私立強豪校との

練習試合にも勝利するなど、日々成長をしてくれました。また栄養学に基づき、強くたくまけたゲームでパフォーマンスを発揮できる身体作りにも取り組みました。その裏には、保護者のご協力と支えもあります。部員は栄養バランスに関する知識を学び、身体に必要な栄養をバランスよく摂り続けることで、酷暑でも体重を落とさずに自己管理をしました。こうした自己管理を徹底していくことで、精神的にも成長したはずで

県北大会では、二度の2点リードを守れずに延長十三回で大館鳳鳴に敗れ準優勝。この敗戦後、「全県大会優勝を獲得の覚悟を決める」と題して、次のことをチームで確認しました。

①どのチームよりも、我がチームの部員に「必ず優勝する」という気持ちがあるから、実現に向け動き出す。②その一人ひとりの気持ちと、日常の行動の積み重ねが、優勝という結果を引き寄せる。③自分が成長・貢献した分だけチームは強くなり、全県大会優勝が近づく。④そして部員全員が、強固な「球」となり、一丸となって頂点を掴もう。そして迎えた県大会。グラウンドの選手、スタンドの選



手、球場補助の選手・マネージャーが、一丸となって戦い、一戦必勝・一戦成長を実行してくれました。4試合中3試合が逆転勝ちという結果で、最後まで粘り強く戦い、6年ぶりの優勝旗を手に入れました。必ず勝つという強い気持ちだが、結果を後押ししてくれたように感じています。

その後の東北大会では敗戦し、選抜出場の可能性は消えましたが、その後の練習は、来夏の夏を見据え以前よりも増して活気に満ちております。部員は「夏は絶対優勝」という意気込みです。お近くにお越しの際は、グラウンドに立ち寄っていただき後輩を激励していただければ、一同心強く感じる次第です。

ディベート甲子園

弁論部顧問 鈴木瑞穂

弁論部は8月のディベート甲子園に向けて日々活動しています。2月の論題発表から論題に関する知識を深め、議論や情報共有を通して主張をまとめます。ディベートには論理的思考とコミュニケーション能力が必要不可欠です。自分たちの主張を明確にし、その主張を支える証拠資料を集めます。試合では、相手の話を正しく聞き、自分の考えをわかりやすく伝えます。

今年度は東北大会で準優勝し、全国大会への出場権を獲得しました。論題は「日本は死刑制度を廃止すべきである。是か非か」でした。死刑制度の存廃という議題は古くから議論され、様々な価値観が相互に対立し合う複雑な問題です。前年度の全国大会ベスト16を上回る成績を目指し、練習に励みました。予選リーグを一位通過したものの、決勝トーナメント一回戦で敗退し、ベスト16という成績でした。

目標としていたベスト8には届かなかったものの、日々議論に磨きをかけ、成長していく生徒たちの姿を頼もしく

感じていました。さらによい議論ができるよう努めて参りますので、同窓会の皆様には今後ともご指導ご支援よろしくお願ひします。

ARDF世界選手権
出場報告

無線部顧問 鈴木道生

9月10～15日にセルビア共和国コパオニクで開催された第16回ARDF世界選手権大会に、平川百佳（3年）が出席してきました。たくさんの方の声援と多大なるご支援に感謝申し上げます。

ARDFは無線を用いたオリエンテーリングとも言われ、ヨーロッパが発祥です。今大会は、チェコやロシアなどの強豪国をめぐり、32カ

国338人が参加しての開催でした。

競技エリアの高度1800mに対応するべく八幡平で走り込みを行うなど、万端の準備で臨んだ大会でしたが、結果は80m競技で20位（22人中）、2m競技で16位（同）でした。時間超過での失格が相次ぐ中、両競技で時間内に無事ゴールできたのは喜ばしいものの、優勝タイムは平川の半分と、技術・体力ともに世界のレベルの高さを痛感させられるものでした。

平川はと言えば、持ち前の負けん気で2年後の大会へ闘志を燃やし技術向上を誓うとともに、異文化や他世代との交流から気持ちも一回り成長しての帰国でした。

今回の経験を糧に、今後ますます活躍してくれることを期待したいと思います。



白いユニフォーム中央が平川さん

平成24年度
部活動大会結果

今年度も能代高校では文武両道の達成を目指して各分野で活躍しました。運動部・文化部の活動状況の概略をご報告します。（24年10月31日現在）

<体育局>

全国大会

体操部 男子団体 第33位
（田中宏輝・三島昇樹・佐々木修平・遠藤鉄平）
柔道部 男子90kg級 近藤大地
2回戦 裏投 ○秋吉俊汰（神奈川・東海大相模）
空手道部 男子 個人形 興齋尊偉
1回戦 1-4 吉村拓真（埼玉・埼玉栄）

東北大会

陸上競技部

男子 走り幅跳 戸松恒希 第17位
三段跳 戸松恒希 第18位
女子 400M 佐藤蘭美 予選敗退

水泳部

男子 400mリレー 第28位
400mメドレーリレー 第27位
800mリレー 第24位
200m個人メドレー 佐藤裕基 第32位
400m個人メドレー 佐藤裕基 第25位
100m自由形 杉澤颯斗 第31位
200m自由形 杉澤颯斗 第25位
100mバタフライ 杉澤颯斗 第31位
200mバタフライ 杉澤颯斗 第35位

柔道部

男子 90kg級 近藤大地 第3位
体操部 男子 団体 第5位
個人総合 三島昇樹 第15位
遠藤鉄平 第18位
田中宏輝 第22位
佐々木修平 第31位
安部元喜 第50位

空手道部

男子 団体組手 1回戦 0-3 青森北（青森）
1回戦 0-4 天童（山形）
女子 団体組手 小林正和 ベスト16（3回戦進出）
個人組手 興齋尊偉 ベスト8（3回戦進出）
個人形 福岡慎吾 初戦敗退
瀬崎勇斗 初戦敗退
西田知歩 初戦敗退

ミニ国体

体操部 少年 男子団体 第5位
（田中宏輝・三島昇樹・佐々木修平・遠藤鉄平）
空手道部 少年 男子形 興齋尊偉 第3位

JOCジュニアオリンピックカップ

柔道部 男子 90kg級 近藤大地
1回戦 内股 ○山本幸紀（神奈川・桐蔭学園）

国体（ぎふ清流国体）

空手道部 少年男子形 興齋尊偉
2回戦 0-5 鈴木雄斗（静岡）

軟式野球部

春季全県大会 1回戦 3-0 能代工業
準決勝 1-6 秋田商業
全国高等学校軟式野球選手権大会秋田大会
1回戦 8-1 秋田工業
準決勝 2-4 秋田商業
秋季全県大会 1回戦 1-0 秋田商業
準決勝 3-0 能代工業
決勝 1-0 秋田工業
秋季東北高校軟式野球大会
1回戦 0-5 専大北上（岩手）

硬式野球部

春季東北大会 2回戦 3-1 二ツ井
準決勝 3-2 大館国際情報学院
決勝 2-5 大館鳳鳴

春季東北地区高等学校野球秋田県大会

2回戦 4-5 秋田中央
全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 6-1 大館国際情報学院
2回戦 3-0 秋田修英
3回戦 4-2 秋田南
準々決勝 4-10 大館鳳鳴

秋季県北大会

1回戦 17-0 小坂
2回戦 4-2 能代商
準決勝 5-1 大館国際情報学院
決勝 6-7 大館鳳鳴

秋季東北地区高等学校野球秋田県大会

2回戦 4-3 大曲工業
3回戦 6-2 秋田中央
準決勝 7-2 金足農業
決勝 6-4 西門

秋季東北地区高校野球大会

1回戦 0-3 江南（福島）

<文化局>

全国大会

無線部 第9回全国高等学校ARDF競技大会

学校対抗 第5位
男子個人 加賀谷将太 第49位
大沢亮介 第72位
安部太智 第86位
女子個人 西村悠南 優勝
渡部晶子 第2位
平川百佳 第3位

弁論部 第17回全国・中学高校ディベート選手権

（ディベート甲子園）
予選リーグ 2勝1敗
決勝トーナメント 1回戦 1-2 早大学院（東京）
ベスト16

世界大会

無線部 第16回ARDF世界選手権大会
平川百佳 80m（3.5MHz） 20位/22人中
2.0m（144MHz） 16位/22人中



(総会の様子はく能代高校東京同窓会>で検索)

今年の総会には二つのサプライズが準備されており、その一つ目は樽子山校舎に学んだ人にはとても懐かしかった。今年の総会には二つのサプライズが準備されており、その一つ目は樽子山校舎に学んだ人にはとても懐かしかった。今年の総会には二つのサプライズが準備されており、その一つ目は樽子山校舎に学んだ人にはとても懐かしかった。

ふたつのサプライズ企画

東京同窓会会長
菅原 渉 (39期)



「能中」文字入りのガラス窓が本校に寄贈され佐々木校長先生に手渡されました。今日では能中ガラス1枚でも大変貴重な物ですが、4枚の能中ガラスが入った窓枠ごとまことに完璧な状態で保存されていました。寄贈者は渡辺博栄さん(43期生、週末NHKでお馴染みのお天気キャスター)で、強化ガラスで窓枠ごと補強して今日まで大切に保存してくれていました。「よくぞ残っていてくれた」と会場では驚きと感激の声が沢山あがりました。今後は生まれふる里の母校で大事に保管展示され、多くの思い出と共に長く後世に伝えられてゆくことでしょう。

二つ目のサプライズは「なんとか懇親会を盛り上げたいなあ」との思いから、幹事有志によるゴスペル音楽が披露されました。ゴスペルなどみな初挑戦で最初は大いに戸惑いもあったのですが、参加者が喜んでくれるならやってみようという練習開始。プロの先生にお願いして9月26日から短期集中型の3回のレッスンで4回目为本番のスケジュール。みんな初挑戦なのに、こんなんで大丈夫かいな...?最初は恐る恐る参加したメンバーでしたが最後のレッスンではもうノリノリ!

本番では自信満々にみんな

で歌い踊りました。会場も大いに盛り上がり皆さんにもとつても喜んで貰えました。その後ユーチューブに載った動画を見ると、勢いだけでやっているなあと反省はあるものの、会場を盛り上げたというの手作り感が伝わってきた「当初の目的は達成できたかな!」とみんなで話しております。今後も参加した人全員が楽しくなる様な東京同窓会にしていきたいと思っておりますので皆さんのご協力を宜しくお願い致します。



最近の各支部開催情報

松陵津軽会	毎年1月第2土曜日頃
八竜支部	平成24年1月22日(日)
近畿支部	平成24年4月30日(月)
県庁能高会	平成24年7月10日(火)
秋田支部	平成24年11月2日(金)
北海道支部	平成24年11月17日(土)
二ツ井支部	毎年11月中旬に実施

秋田県立能代高等学校同窓会本部・支部一覧

同窓会本部のEメールアドレス
noshirohs-dousou@shirakami.or.jp

2012/10/30現在

	名 前	郵便番号	所在地(会長宅または事務局)	宛先(代表者名)	電話・fax	会長名・支部長名	期
本部	能代高校同窓会	016-0184	秋田県能代市字高橋2-1 秋田県立能代高等学校内 http://www.shirakami.or.jp/~noshirohs-dousou/	能代高校同窓会事務局	0185-54-2230 fax0185-54-2231	森 田 新一郎	40
	東京同窓会	103-0007	東京都中央区日本橋浜町3-35-5-504 (㈱タイオージャパン内)	能高東京同窓会事務局	03-3660-1957 fax03-5847-7056	菅 原 渉	39
	秋 田 支 部	010-0976	秋田市八橋南2-10-16 農協ビル6階 柴田・加賀法律事務所内	弁護士 加賀 勝己	018-864-2601 fax018-864-2602	加 賀 勝 己	30
	県庁能高会	010-8570	秋田市山王4丁目1-1 秋田県庁 秋田県医師確保対策室内	県庁能高会事務局 佐藤 徹	018-860-1410 fax018-860-3883	高 堂 弘 道	41
	北海道支部	060-0062	札幌市中央区南2条西7丁目5-6 (株)雪研スノーイーターズ内	事務局長 大槻 政哉	011-272-3540 fax011-272-3550	菊 地 晃 二	27
支	近 畿 支 部	655-0002	兵庫県神戸市垂水区小東山5丁目6-7	平川 長	078-794-0998 fax 電話と同じ	平 川 長	29
	青 森 支 部	030-0966	青森市花園1-27-18	原田 和夫	017-742-5325 fax017-744-6150	原 田 和 夫	26
	大 館 支 部	017-0844	秋田県大館市字新町10	西村 銀三	0186-42-0221 fax 電話と同じ	西 村 銀 三	14
部	八 竜 支 部	018-2401	秋田県山本郡三種町鶴川字昼寝下67-1	岩谷 隆	0185-85-2335 fax0185-85-2104	岩 谷 隆	31
	鷹巣阿仁支部	018-3322	秋田県北秋田市住吉町8-27	田中 三夫	0186-62-2731 fax0186-62-2757		
	二ツ井支部	018-3119	能代市二ツ井町字比井野54	豊澤 幸夫	0185-73-2045	豊 澤 幸 夫	20
	藤里町松陵会	018-3203	秋田県山本郡藤里町大沢字館の下21-8	石田 洋三	0185-79-1801	石 田 洋 三	27
	松 陵 津 軽 会	038-2202	青森県西津軽郡深浦町大字岩崎字玉坂10-3	七戸 仁	0173-77-2012	七 戸 仁	47